

12. 道路・河川施設

(1) 施設の概要

道路・河川施設は、施設数 9、総延床面積 938.1 m²となっています。これは、本市の公共施設のうち、面積比で約 0.1%の割合を占めています。

道路・河川施設の一覧を表 4.12.1 に、経過年数別の延床面積の割合を図 4.12.1 に、耐震化状況の延床面積の割合を図 4.12.2 に、施設の分布図を図 4.12.3 に示します。

表 4.12.1 道路・河川施設一覧

No	施設名称	構造	建築年度	経過年数	棟数	施設保有延床面積(m ²)	耐震化状況	地域	指定管理	備考
1	関が丘歩道線(四阿)	木造	1989	26	1	9.0	不要	一関		
2	祭時被災地展望(四阿)	木造	2010	5	1	19.0	不要	一関		
3	市野々原被災地展望(四阿)	木造	2010	5	1	19.0	不要	一関		
4	笹谷川(四阿)	木造	1998	17	1	7.0	不要	一関		
5	夏川排水機場	鉄骨造	1991	24	2	283.8	不要	花泉		
6	石崎排水機場	鉄骨造	1965	50	1	285.0	不明	花泉		
7	内之目排水機場	鉄筋コンクリート	1999	16	1	207.0	不要	花泉		
8	日形排水機場	鉄骨造	1982	33	1	105.0	不要	花泉		
9	夏川水位観測所	木造	2005	10	1	3.3	不要	花泉		

※構造、建築年度、経過年数、耐震化状況は、施設の代表棟の内容を記載しています。

※施設保有延床面積は、施設内の建物の延床面積の合計を記載しています。

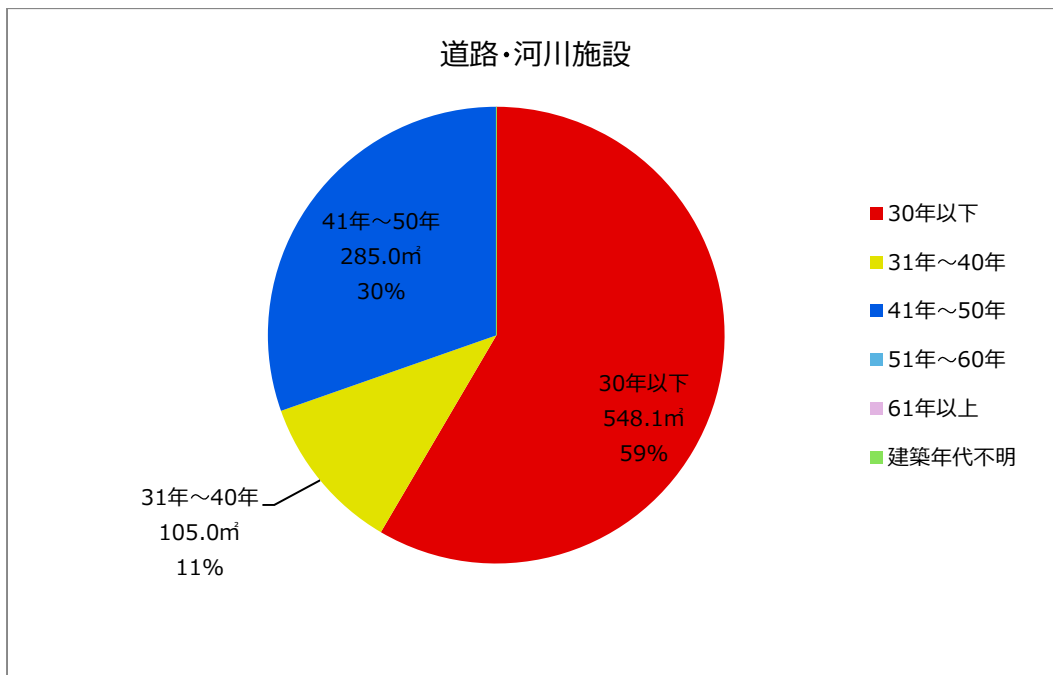


図 4.12.1 経過年数別の延床面積の割合

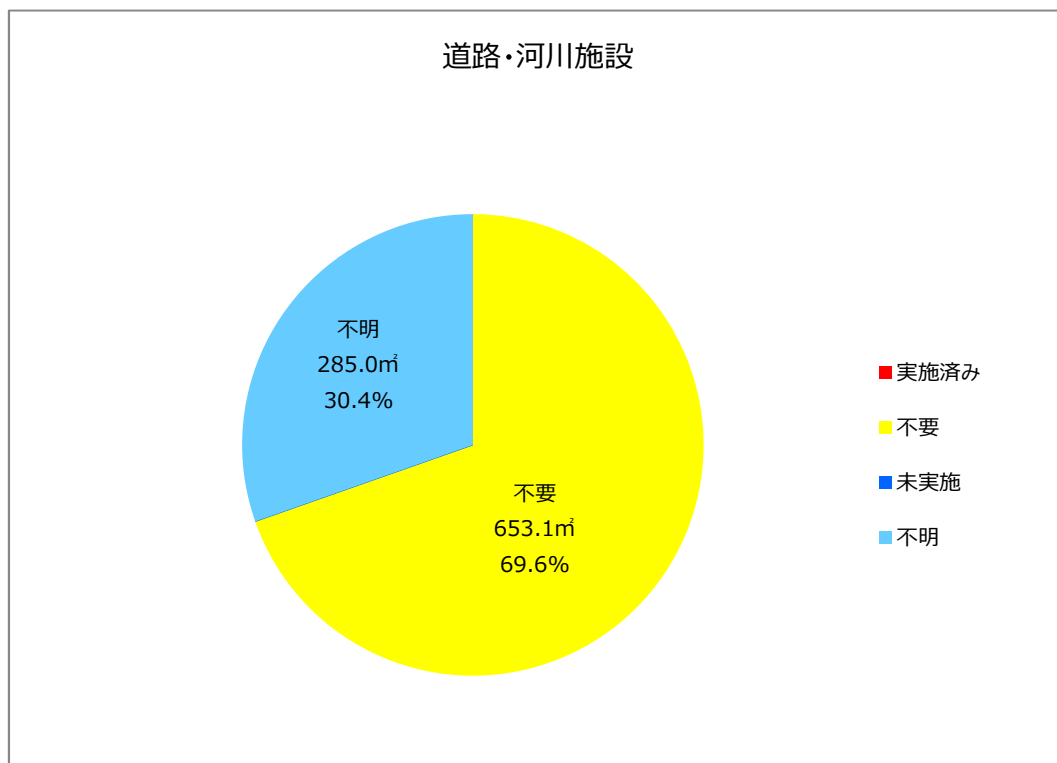


図 4.12.2 耐震化状況の延床面積の割合

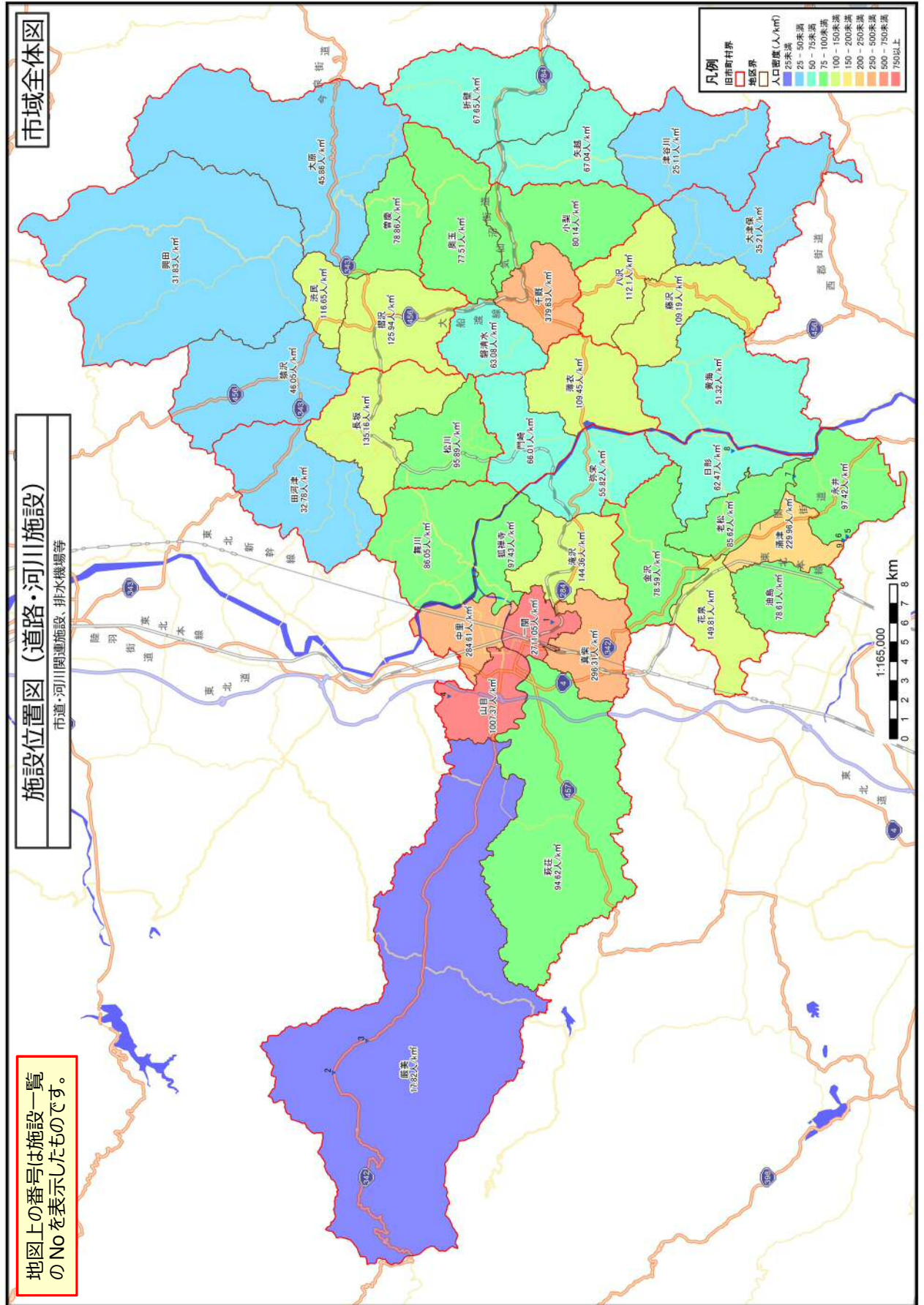


図 4.12.3 施設分布図

(2) 施設の収支状況

道路・河川施設の施設別の収支状況を表 4.12.2 に、道路・河川施設全体での市負担額の推移を図 4.12.4 に示します。

表 4.12.2 施設別の収支状況（平成 24～26 年度の平均）

No	施設名称	市の収入 (円)	市の支出 (円)	うち維持管理に かかる支出(円)	市負担額 (円)	地域
1	関が丘歩道線(四阿)	0	0	0	0	一関
2	祭時被災地展望(四阿)	0	0	0	0	一関
3	市野々原被災地展望(四阿)	0	0	0	0	一関
4	笹谷川(四阿)	0	0	0	0	一関
5	夏川排水機場	0	4,982,324	4,148,024	4,982,324	花泉
6	石崎排水機場	0	5,097,175	4,262,875	5,097,175	花泉
7	内之目排水機場	0	1,615,791	781,491	1,615,791	花泉
8	日形排水機場	0	1,729,858	895,558	1,729,858	花泉
9	夏川水位観測所	0	0	0	0	花泉
合計		0	13,425,148	10,087,948	13,425,148	

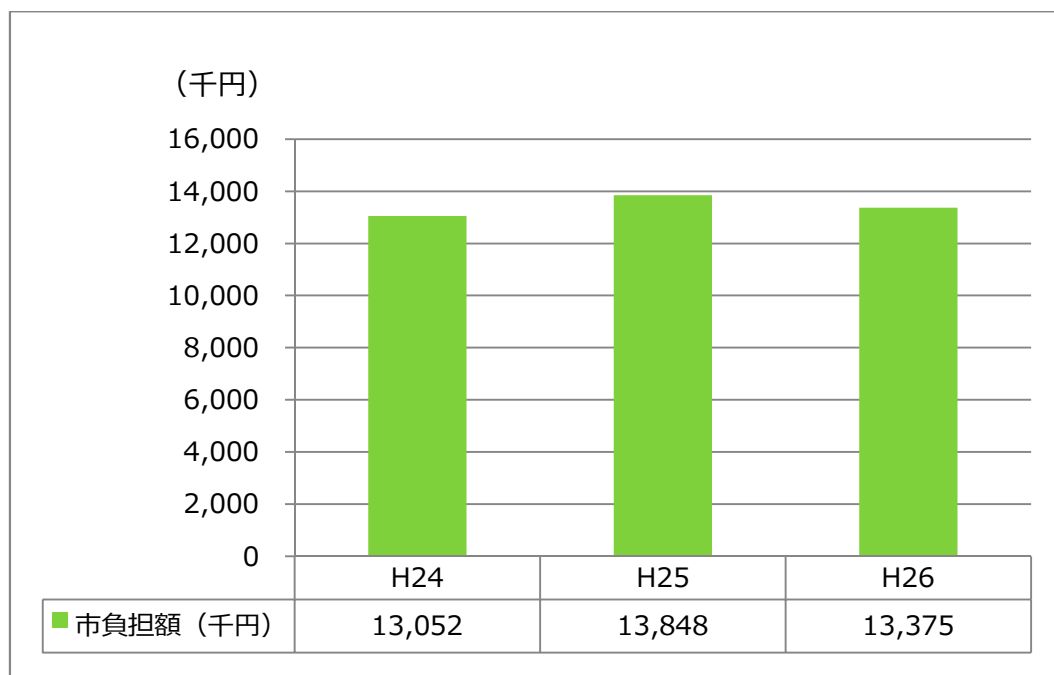


図 4.12.4 道路・河川施設全体での市負担額の推移

(3) 施設の利用状況

道路・河川施設については、不特定多数の方が利用しているものと、施設を維持管理するための機能として捉えられることから、特定の利用状況調査は実施しません。

(4) 施設の現況と課題

- 建築後 30 年以下の施設が 6 割程度です。排水機場などの施設の機能を維持するためにも、日常の維持管理が欠かせない施設といえます。